

編集後記

本号がお手元に届く頃には、第19回国際HLA・免疫遺伝学ワークショップがちょうど開催の時期を迎えていることと思います。共同議長であられる徳永勝士先生、椎名隆先生をはじめ、関係諸先生方のご尽力により、実り多い会となりますよう心よりお祈り申し上げます。沼津といえば深海水族館が知られていますが、深海のアイドルとも称される「メンダコ」をご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

さて、本号に掲載された「HLA エピトープ」シリーズ第3回では、HLA分子(+ペプチド)のT細胞受容体による認識と抗体による認識の相違について、理解を整理する良い機会となりました。また、新たに始まった「造血幹細胞移植とHLA」シリーズ第1回では、血縁者間移植における次世代のより精緻なドナー選択の方向性が分かりやすく解説されています。さらに、第29回HLA-QCワークショップレポートからは、制度管理を支える技師の方々の日々のご努力が目に見え、頭が下がる思いです。2026年度版の推定アレル一覧表も掲載されています。多彩な内容を収めた本号を、どうぞお楽しみ下さい。

村田 誠

学会事務局からのお知らせ

入退会手続等の会員管理、登録情報の変更および会費納入については、会員管理システム(SMOOSY)を用いて行っております。

その他の学会運営事項については、ホームページにQ&Aページを設けていますので、ご参照ください。

<https://jshi.moosy.atlas.jp/ja/FAQ2022>

事務所：

一般社団法人 日本組織適合性学会

〒601-8323 京都市南区吉祥院春日町21-11